

《平成29年6月議会質問および回答要旨》

1. 口腔がん検診について

《回答：健康福祉部長》

口の中の健康、つまり、よく噛みよく味わうなどの機能の維持は、糖尿病や心疾患、認知症など全身の健康に関係していることが明らかとなっており、人間の幸福や尊厳を守る観点からも、口腔がんの早期発見、早期治療をすることが必要と考えている。

しかし、口腔がんは、肉眼で見ることができ、また手の指で触診するなどして感知できるものと言われているが、口の中の健康に対する関心が低く、口腔がんについても認知されていないことから、見過ごされてきている。

そのため、県では、第2次島根県歯と口腔の健康づくり計画に基づき、かかりつけ医を持ち、定期的に口腔内を点検するという目標に向けた取り組みを実施しているため、口腔チェックの機会が増えれば口腔がんが見つかり、早期治療につながるほか、歯周病や虫歯の早期発見にも有効であることから、定期的なチェックを受けてもらえるよう、健康教育など様々な機会を捉え、普及啓発をしていく。

2. 萩・石見空港利用拡大（東京線2往復運航継続）について

《回答：知事》

萩・石見空港東京線2便化により利便性が大きく向上していることで、首都圏からUIターンやIT企業の進出など、定住促進や企業立地等、圏域の活性化の面においてもプラス効果があるものと考えている。

そのため、国の有識者懇談会の開催が見込まれている今年秋に向けて、しっかりと利用実績を残していくことが重要であるので、首都圏からの誘客対策を一層強化し、あわせて県政の重要課題である産業振興、子育て支援、定住対策などの各分野での取り組みにおいても、萩・石見空港の利用促進を図る緊急対策を実施する考えである。こうした対策の一環として、より一層連携を強化し、効果的、機動的な対応ができるよう、県の職員を駐在させたところであり、今後も、関係者が一体となって利用促進に努め、2便運航の継続に全力で取り組んでいく考えである。

3. 山、川、海のつながりについて

《回答：農林水産部長》

豊かな山と森林を育むことは、豊かな海の形成にも大きく寄与するものであり、伐採した森林を確実に再生し、循環型林業を実現することが重要と考えている。そのため、杉などの針葉樹では、植林、育林を行うことが必要であり、またその作業を円滑に行うための作業道づくりでも、山、川、海のつながりを意識して、雨水を適切に排水するなど、環境に配慮したものとしている。

島根県では、このような伐採跡地の再生が確実に行われるよう、平成28年度から、伐採業者と植林する者が連携して森林の再生に取り組む連携協定を推進しており、現在、益田圏域を中心に14件の連携協定が締結されている。今後、この取り組みを軸に、循環型林業の実現に向けた森林の再生を進めていく。